

ハシブトガラス

特徴と生態



●体長…全長：約 56 cm
翼開長：約 105 cm

●体色…成鳥：光沢のある黒色
雛：赤裸
卵：くすんだ緑色に褐色の斑点を呈す

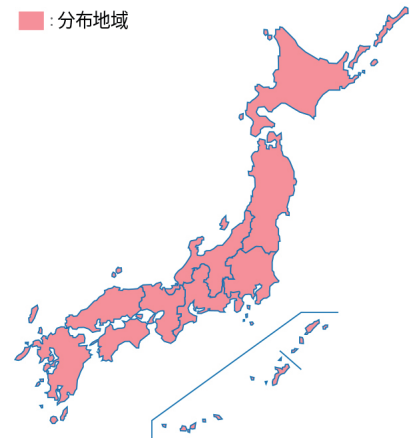
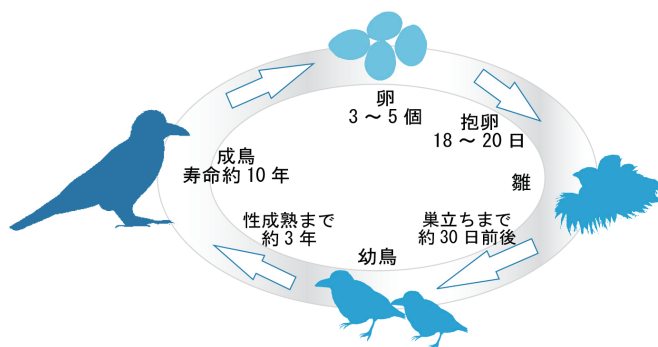
●見た目がハシボソガラスに似ていますが、本種は嘴が太く、上嘴が曲がっていることや、額が出っぱていることで区別できる。また、鳴き声は「カーカー」と澄んでおり、ハシボソガラスは「ガーガー」と濁っていることも違いとしてあります。食性は雑食性で、樹木の種子や農作物などの植物質が割合として多いですが、農村部に多いハシボソガラスに比べ、より動物質を好む傾向にあり、昆虫や魚、動物の死体、人間の出した生ゴミ等を食します。また、貯食習性があり、樹木や人工物の隙間（雨樋、室外機、電柱の変圧器等）に食べ物を隠します。巣（卵を産み、雛を育てる場所）が作られる場所としては葉が茂った大きな樹木が好まれますが、電柱や鉄塔、貯水タンクの下などの人工物にも作られます。ねぐら（夜を過ごす場所）は、森林や都会では神社や公園などの大型の緑地が利用され、集団で過ごします。

分布と生息場所

●日本全国に分布しています。
マンション、ビル、駅、神社、寺院、倉庫、工場などの雨風の当たらない、高い場所を営巣場所とする傾向にあります。

●生態サイクル

●分布図 分布地域



被害

●ハシブトガラスによる被害としては、特に都市部で多く、ゴミを散らかす、人を攻撃するといった被害が挙げられます。ゴミを散らかすというのは、人間が出したゴミを、餌を求めにカラスがやってきて荒らしてしまうということです。人への直接的な攻撃は、主に繁殖期に雛を守るための行動で、巣に近づいてきた人間を威嚇・攻撃してきます。

防除対策

●被害の状況によって対応は変わります。ゴミを荒らすという場合には、ゴミ集積場の管理方法を見直す必要があります。ゴミをカゴやケージに入れることで被害は減らせます。場所の問題等でネットしか使えないという場合には、使用するネットは目の細かいものを用い、被せたネットの端に重しを載せるなどして、カラスが入り込める隙間をつくらないことが大切です。また、ネットにほつれが生じた場合も、その穴から嘴を刺し込んで荒らしますので、ほつれは直すようにしてください。

生息数が増えて困っているといった場合には、捕獲するという方法もありますが、鳥獣保護管理法により都道府県知事（または委譲された市町村）の許可が必要となり、むやみに捕獲することはできません。巣を撤去する場合にも、卵や雛がいる巣の撤去は許可が必要となります。

人への直接的な攻撃は、ほとんどが繁殖期に雛を守るための行動ですので、こちらからむやみに手を出したり、じっと見ることはやめましょう。威嚇されたら近づかないことが大切です。